

地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック
近畿ブロック 中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)東京建築士会
 まちづくり委員会、青年委員会からなる合同WG 事業名 これから始める地域建築士Vol.2

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(防災教育WG)

●活動の背景
 防災教育WGでは、市民向け防災ハンドブック「防災本」や建築士向けテキストをはじめ、建築士が防災を通して地域に入り込む為の様々なワークショップツールを作成し、多くの防災活動を実践してきた。地域防災力の向上には多くの防災に精通した地域建築士が必要であり、当WG活動の成果を地域建築士となりうる建築士へ解説し、活躍の足掛かりとしてもらうことで、地域建築士の育成を図ることとした。

●活動目的
 今回は建築士向け研修会として、防災ツールの一つである「BouKenトランプ」を使ったWSと活動事例の紹介と、まちづくりの研究を行っている先生を講師としてお招きし、実際の地域活動についての講演から、地域に根差した活動を実現できる手法を学ぶことで地域に入り込んで活躍できる建築士の育成を目的とする。

●活動内容と成果
 活動内容
 日時：2016年3月26日(土)東京建築士会会議室 14:00~17:00
 第1部(25分)：ワーキング活動事例紹介と活動の手法解説
 第2部(45分)：BouKenトランプのワークショップ
 第3部(75分)：真野大介氏の講演 まちづくりと都市・地域の再生を研究されている真野大介氏(東京工業大学大学院社会理工学研究科 准教授)の講演
 活動成果
 BouKenトランプと使用した第2部のWSでは、防災学習に特化した減災・対応ゲームを行い、参加者がルールを把握し、率先してゲームに参加し白熱したWSになった。このトランプは建築士が各々の地域で活動できる足掛かりになるツールであり、参加した建築士も各地域で活用したいという声と反応を伺えた。第3部の真野先生の講演は今現在行っている研究内容を講演していただくことで、地域に入っていく上での障害やその対策を現実的に参加者の質問もも交えて伺えることができ、それぞれの地域建築士として活動できる地域の特徴やキーポイントを見出すヒントを得ることができた。

●集客方法
 (一社)東京建築士会の会報と共にチラシを送付
 まちづくり委員会、青年委員会、防災委員会、女性委員会、新聞社へのメーリングによる広報
 関東ブロックの青年委員会へのメーリングによる広報

●活動収支	収入	参加費 28,000円			支出	333,146円	助成金から支出	333,146円	
	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	一般		計
		15		15		11	2		13

連携・協力組織 助成団体：まちづくり地球市民財団、建築技術教育普及センター



写真①



写真②

●今後の課題
 年度末の開催であり、同月にセミナーが集中し、集客が伸び悩んだことが挙げられる。また、配布資料が多く、解説が行き届いていなかったため、参照資料の指示がスムーズに行えなかった。対策として、年度末の開催については、他のセミナーの日程把握と早めの広報、資料については、スクリーン等に配布資料解説を映すなどの対策を考えている。

●今後の計画
 ・地域での防災・減災活動(5月:大地震に備えるフォーラムin中野)
 ・防災本、テキスト、BouKenトランプの販売方法、広報の検討
 ・英語版防災本の作製、プレート模型の作製開発等

問い合わせ先 (一社)東京建築士会 担当者 畠山由美子
 連絡先 TEL 03-3536-7711 FAX 03-3536-7712 e-mail mail@tokyokenchikushikai.or.jp
 ホームページアドレス <http://www.kenchikushikai.or.jp/>